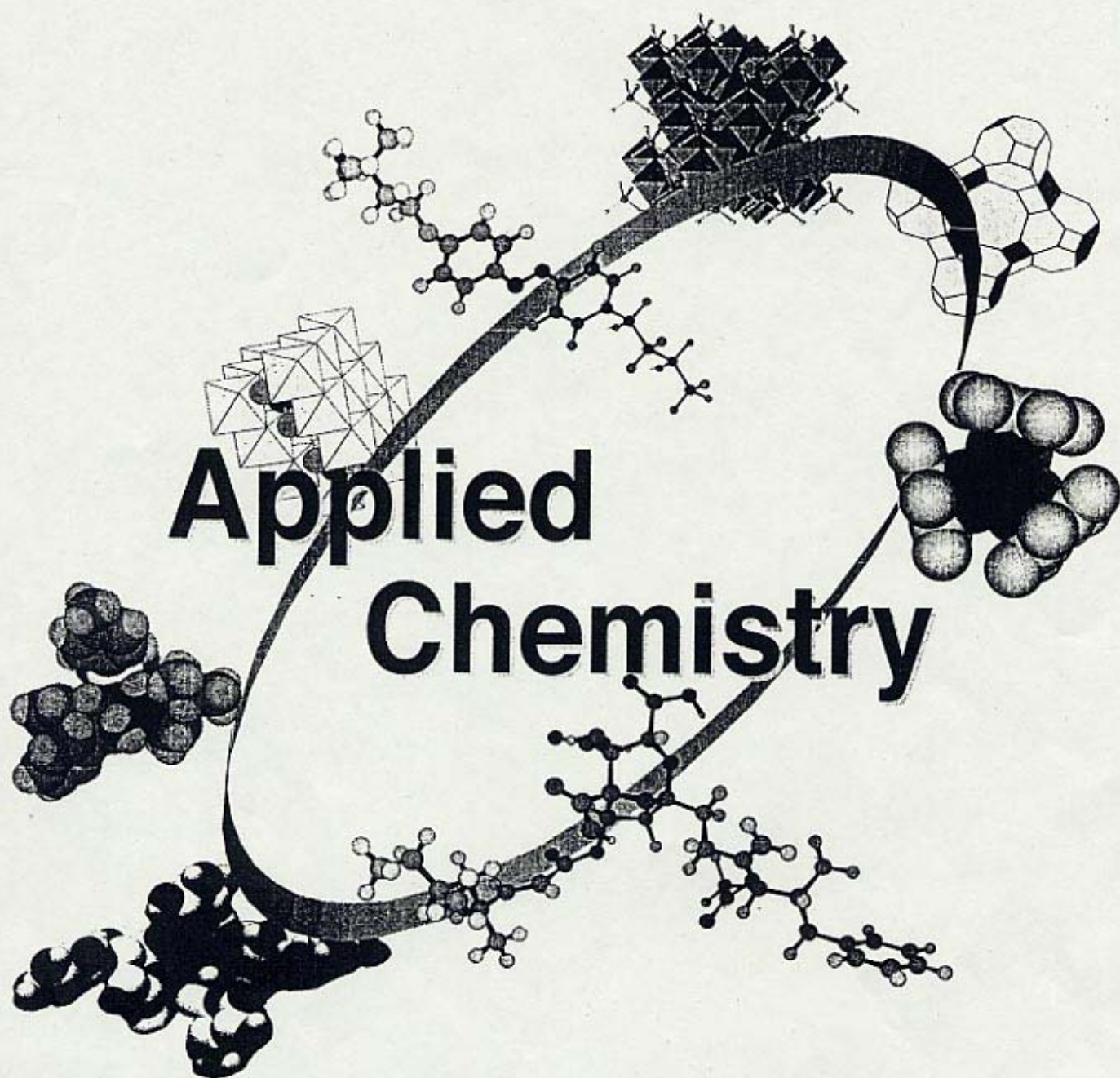


# 桜花会 同窓会誌

東京工業大学応用化学系同窓会



2002年度

# 巻頭言

桜花会

会長 横山亮次

今回桜花会誌が脇原先生を始め、諸先生方のご努力によって発刊されるようになりました事を心からお喜び申し上げます。

桜花会は応用化学系の学科を卒業された方々の同窓会ですが、これまでの同窓会活動に加えて昨年は新たに「桜花会教育奨励事業」が会員皆様方の合意によって設立されました。

その対象は桜花会と関係の深い母校在校生の学力向上と、日本人としての誇りを、身につけさせる事であって、日頃からの私の願いが叶い喜んでおります。そこで巻頭の言葉として、私がこのような願いを抱くようになりました事の一端を述べさせていただきます。

私は米国カリフォルニア州立大学アーバイン校の学長要請を受けて平成8年「1996」修士コースに入学した学生を対称とする、奨学基金を作りました。この奨学基金を作った事から、アーバイン校には年間100件の奨学金を、寄附によって集める副学長が任命されている事と、寄附した人が奨学金を受賞した学生を励ますための懇親会が、毎年開かれている事を知りました。

受賞対象者は学業成績がよく、クラブ活動に励み、社会への奉仕活動理念のある明日の米国を担う学生である事を思いますと、学力が低下している事が嘆かれている日本の学生の現状に思いを馳せると共に、その現状を母校から打破したいと思うようになった次第です。

脇原先生よりの知らせによりますと、昨年は大学院生2名の国際学会への参加経費援助が行なわれましたとの事、引きつづいごきそのような援助が毎年行なわれる事を願ってやみません。

終りに桜花会会員皆様方の益々のご多幸を祈念し巻頭の言葉といたします。

## 平成 14 年度 事業計画

- ◎ 役員会 1 回
- ◎ 総会開催 (平成 14 年 5 月 25 日 (土))
  - 講演会:
    - 講 師 佐治 哲夫 氏 (物質科学専攻教授)
    - 講 師 鯉沼 秀臣 氏 (応用セラミックス研究所 所長)
- ◎ 工場見学会 (平成 14 年 10 月 18 日 (金))
- ◎ 桜花会賞の授与 (卒業発表に対して)  
図書券の授与 : 5000 円の図書券を 2 名、3000 円の図書券を 4 名
- ◎ 卒業生祝賀パーティー (平成 15 年 3 月 26 日)
- ◎ 桜花会教育奨励事業  
大学院生の国際学会出席への援助 (4 名、各 10 万円)

### 桜花会 平成 14 年度役員

会 長 横 山 亮 次

副 会 長 官 坂 伊 兵 衛

露 木 重 彦

堀 尾 哲 一 郎

森 川 陽

中 濱 精 一

脇 原 將 孝

会 計 監 事 深 谷 正 樹

小 野 嘉 夫

常 任 幹 事

庶 務 担 当 脇 原 將 孝

企 画 担 当 高 橋 孝 志

会 計 担 当 内 本 喜 晴

## 新任教官挨拶

### 応用化学専攻 化学反応設計講座 助教授 岡本昌樹

平成14年4月1日付で物質科学専攻物質変換講座の助手から、応用化学専攻化学反応設計講座助教授に昇進いたしました。私は、平成元年3月東京工業大学工学部化学工学科卒、平成6年3月同大学大学院化学工学専攻博士課程修了の東京工業大学出身の教官で、桜花会には卒業生と教官という両面から大変お世話になっています。

助教授になって研究室を持つことになり、これまでにない責任の重さを感じています。桜花会会員である学生を、21世紀の日本の化学を担う立派な研究者を育てるということは、研究と共に非常に重要なことであると考えております。

私は学生時代から、触媒化学、特に固体触媒について研究を行ってきました。固体触媒は、現在、化学工業において中心的役割を果たしているだけでなく、近年では、NO<sub>x</sub>やダイオキシンなど有害物質の分解除去に代表されるように、現在の環境問題を解決する有効な方法の1つとして固体触媒を用いたシステムが注目されています。研究室では、固体触媒としてよく用いられている機能性多孔体の合成から、多孔体などを固体触媒に用いた反応の開発まで行っています。新しい機能を持つ触媒を調製するには、新しい多孔体材料の開発が必要不可欠です。主な研究テーマとして、新規多孔体材料の開発を行っています。また、ハロゲンなどの有害物質を用いない合成法を開発するために、環境調和型の触媒反応の研究も行っています。

微力ではありますが、東工大の教育と研究の発展に対し全力を尽くす所存であります。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

### 応用化学専攻 化学反応設計講座 助教授 桑田繁樹

平成14年4月1日付けで東京大学大学院工学系研究科から応用化学専攻に助教授として着任いたしました桑田繁樹です。これまで有機金属化学、金属錯体化学、とくに硫黄を架橋原子とする多核錯体、金属クラスター錯体の合成と構造について研究をおこなってきました。複数の金属原子と配位子の組み合わせ、結合形成のパターンはまさに無限であり、それらが織りなす金属クラスター錯体の構造はしばしば芸術作品を思わせます。これまでは主にその美しさを追求してまいりましたが、今後はこれら金属錯体の「構造」に注目するだけでなくその「機能」の開発、とりわけ分子触媒としての利用へと研究を展開していきたいと考えております。

この春は有名な大岡山キャンパスの桜を楽しみにして東工大にまいりました。ところが、今年の桜はずいぶんと早咲きで、4月頭には既に散ってしまう有様。幸いにして専攻の先生方、学生さんには暖かく迎えていただき、東工大での生活を快適に始めることができました。最初は奇妙に思えた百年記念館の姿も、今では通勤途中の見慣れた一風景です。

微力ではありますが、伝統ある東工大応用化学系の発展に貢献できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

# 応用化学コースの講座・指導教官・連絡先

最新資料

講座名	分野名	教官名	ROOM	E-mail	EXT.	FAX	備考
分子機能設計講座	有機分子設計分野	教授 高橋 孝志	南1号館 412号室	ttakashi@o.cc.titech.ac.jp	2120	2884	
		助教授 土井 隆行	南1号館 414号室	doit@mep.titech.ac.jp	2111	2884	
		助手 田中 浩士	南1号館 416号室	thiroshi@o.cc.titech.ac.jp	2471	2884	
	無機合成化学分野	教授 脇原 将孝	南1号館 625号室	mwakihar@o.cc.titech.ac.jp	2145	2146	
		助教授 内本 喜晴	南1号館 626号室	yuchimot@o.cc.titech.ac.jp	3037	2146	
		助手 生田 博将	南1号館 672号室	hikuta@o.cc.titech.ac.jp	3038	2146	
	触媒反応設計分野	教授 碓屋 隆雄	南1号館 526号室	tikariya@o.cc.titech.ac.jp	2636	2637	
		助教授 友岡 克彦	南1号館 619号室	ktomooka@o.cc.titech.ac.jp	2580	3931	
		助手 伊藤 正人	南1号館 570号室	mito@o.cc.titech.ac.jp	3914	2637	
化学反応設計講座	有機反応設計分野	助教授 三上 幸一	南1号館 525号室	kmikami@o.cc.titech.ac.jp	2142	2776	
		助教授 栄 中 繁 樹	南1号館 619号室	skuwata@o.cc.titech.ac.jp	2150	2637	
		助手 山中 正浩	南1号館 569号室	myamanak@o.cc.titech.ac.jp	2776	2776	
	錯体反応設計分野	教授 鈴木 寛治	南1号館 528号室	hiroharu@o.cc.titech.ac.jp	2148	3913	
		助教授 岡本 昌樹	南1号館 618号室	omasaki@o.cc.titech.ac.jp	2625	2878	
		助手 高尾 俊郎	南1号館 571号室	ttakao@o.cc.titech.ac.jp	2623	3913	
	工業物理化学分野	教授 大塚 潔	南1号館 621号室	kotsuka@o.cc.titech.ac.jp	2143	2879	
		助教授 山中 一郎	南1号館 620号室	yamanaka@o.cc.titech.ac.jp	2144	2144	
		助手 竹中 壮	南1号館 623号室	stakenak@o.cc.titech.ac.jp	2626	2879	
物質変換講座 (物質化学専攻)		教授 佐治 哲夫	南1号館 308号室	tsaji@o.cc.titech.ac.jp	2627	2627	
		助教授 鈴木 榮一	南1号館 616号室	esuzuki@o.cc.titech.ac.jp	2118	2878	

# 卒業生の活動分野

分野	最近の就職先				
大学	東京工業大学	お茶の水大学	京都大学	東北大学	
	北海道大学	広島大学	千葉大学	富山大学	
	東京農工大学	豊橋技術科学大	山口東京理科大	富山医科薬科大学	
	帝京大学	岡山理科大学	神奈川大学	シンガポール大学	
	北陸先端科学技術	茨木大学	岡山大学	香港科学技術大学	
	Oklahoma大学	九州大学	名古屋大学		
官公庁	通産省	労働省	相模中央化学研	東京都	
	味の素	ダイセル化学工	明治製菓	キリンビール	
化学工業	協和発酵	長谷川香料	高砂香料	富士フィルム	
	三共	藤沢薬品	サントリー	第一製薬	
	ファイザー製薬	ノバルティス	P&G	日本石油	
	東レ	東ソー	帝人	旭化成工業	
	東陶機器	日本曹達	日本合成ゴム	東亜合成	
	日立化成	花王	三菱ガス化学	三菱化学	
	ライオン	昭和電工	大日本インキ	旭硝子	
	住友化学工業	電気化学工業	資生堂	三井化学	
	ブリジストン	鐘ヶ淵化学	武田薬品	セントラル硝子	
	日本化薬	日本油脂	住友スリーエム	古河電気	
	東洋インキ	山之内製薬	日本触媒	日本ゼオン	
	徳山曹達	参天製薬	丸善石油化学	クラレ	
	機械・金属工業	新日鉄	日産自動車		
		三洋電機	沖電気	シャープ	ソニー
電機工業	住友電気工業	セイコーエプソ	IBM	キャノン	
	全日空	大阪ガス	東京ガス	大日本印刷	
その他技術系	凸版印刷				

# 理台懐志の主業卒

## 平成 13 年度卒業生 進路紹介

### 学部卒業生 (37 名)

- 大学院進学 35 名 (東工大大学院 33 名、東大大学院 2 名)  
就職 1 名 (CTC)  
専門学校進学 1 名

### 修士課程修了者 (23 名)

- 大学院進学 8 名 (東工大大学院 8 名)  
就職 15 名 (IBM、キャノン、協和発酵工業、  
CTC ラボラトリーズ、参天製薬、新日鐵、  
住友電気工業、ソニー、東京ガス、東京都、  
藤沢薬品工業 2 名、丸善石油化学、三井化学、  
三菱化学)

### 博士課程修了者 (5 名)

- 就職 3 名 (クラレ、東レ、ファイザー製薬)  
その他 2 名 (東工大ポスドク、三星)

平成 14 年 9 月 11 日発行

編集

平成 14 年底務幹事 脇原 将孝

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科応用化学専攻内